

# ほほえみ

小平小学校たより 第26号  
文責 平田村立小平小学校長 富岡 信  
令和5年9月22日(金)

## 算数授業研究会

9月15日(金)、県中教育事務所渡邊拓指導主事に来校していただき、4年生算数の授業研究会を行いました。「倍の見方」の授業です。「30cmと15cmの包帯があります。引っ張るとどちらも30cm伸びました。どちらがよく伸びる包帯でしょうか。」

伸びた長さが両方30cmなので、「どちらも同じ伸び方なんじゃないの?」と疑問をもちました。この疑問に対して、テープ図を書いたり、数直線で表したりしながらそれぞれの包帯の伸び方を目で確認しました。また、式を用いて伸びたあとの長さは元の長さの何倍かを調べました。

割合やわり算という難易度の高い学習でしたが、児童たちは全員よく考え学習していました。先生たちも分かりやすい授業を目指して勉強しています。



## 家庭学習の重要性

各学年とも授業内容が少しずつ難しくなっています。1年「カタカナ」、2年「3けた-2けた」、3年「外国語活動」、4年「割合」、5年「分数」など、そして、6年は中学校進学に向けた小学校内容の総復習をする必要があります。学年があがるにしたいが、家庭学習の量や質はよくなっているでしょうか。ポイントは、「授業の内容をその日のうちに復習する」です。

全国学力・学習状況調査の質問紙の結果で、家庭学習の時間は、全国と比べて小平小学校は少ないとでています。その日の授業の宿題をしたり、ノートを見て復習をしたりすることが必要です。毎日の家庭学習を大切に、授業内容を定着してほしいと思います。



### 家庭劇場

9月20日(水)、村家庭劇場があり、音楽

劇「あとむの時間はアンデルセン」を鑑賞しました。「色んなことがあるけど、人々が元気で生きていけるように」という願いが込められていました。2年生女子2名、4年生男子が代表でゲームに参加したり、楽しい時間を過ごしました。6年生女子が代表でお礼の言葉を述べました。



### 手話教室

9月21日(木)、4年生の総合の時間に、

社会福祉協議会の久保木様、石田様、頑張ろう会の山田様、植田様、関根様を講師に迎え、手話教室を行いました。

障がいについて理解し、手話にチャレンジしました。あいさつや自分の名前を手話で表現し、みんなで合唱をして終了しました。とても貴重な充実した時間でした。

